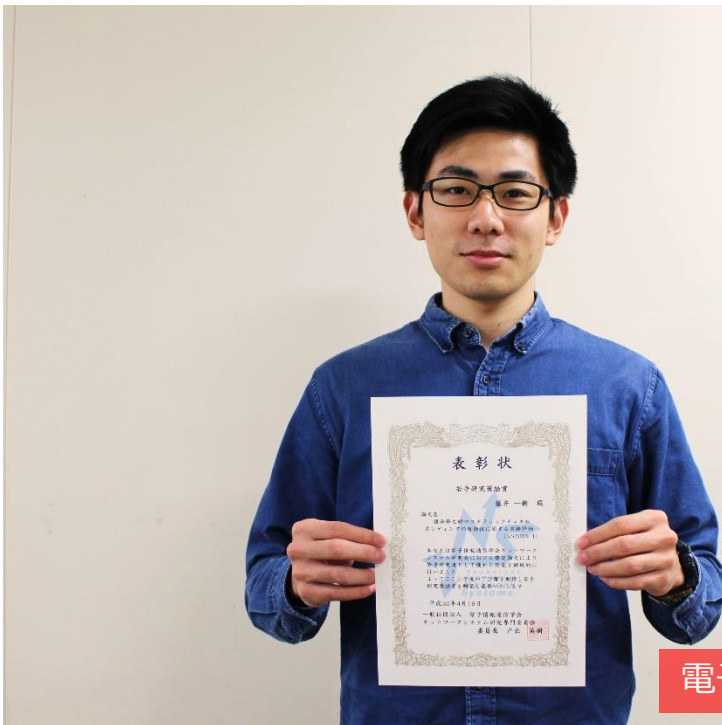


電子情報工学専攻 2 年  
 田村研究室

藤井 一樹 さん

電子情報通信学会ネットワークシステム研究会  
 『若手研究奨励賞』 受賞



一般社団法人 電子情報通信学会主催の電子情報通信学会ネットワークシステム研究会において、本学工学研究科 電子情報工学専攻 藤井一樹さんの論文が、4 月 19 日に『若手研究奨励賞』を受賞しました。

この賞は今後を期待される若手研究者を表彰するもので、対象の発表に対し受賞 4 %の狭き門です。

この研究会で受賞した研究テーマは「競合発生時のスタティックチャンネルボンディングの有効性に関する実験評価」です。

電子情報工学専攻 2 年 藤井 一樹さん (東福岡高校出身)

【競合発生時のスタティックチャンネルボンディングの有効性に関する実験評価】

本研究の目的は WiFi の通信環境の改善です。WiFi の最新規格である IEEE802.11ac は通信帯域を拡大させるチャンネルボンディングという機能で通信速度を向上させていますが、それによって他の無線 LAN 機器と競合を引き起こす原因となります。また、市販されている無線 LAN 機器はメーカーによって通信方法の実装が異なるため、その実態を調査する必要がありました。

そこで実機を用いた実験を通して、様々なメーカーの無線 LAN 機器の通信方法を調査し、それらの競合時における通信性能を評価しています。

そして、WiFi 環境の改善につながる最適な通信方法を解明しています。

今回の受賞に際し、藤井さんは「学部生の時からの研究が認められてうれしい。苦労した点は、計測したデータの集計と分析。1 回の実験に 4、5 日かかることもあり、根気を要しました。」と語ってくれました。



田村助教と